

平成29年度事業報告書

I. 事業の概要

昭和聖徳記念財団は、昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、昭和天皇記念館の管理運営を行うとともに、学術研究への助成、青少年の健全育成及びご事績に関する講演会の開催や出版等の事業を行うことを目的としている。

当財団創設以来の念願であった昭和天皇記念館は、平成14年4月、国土交通省において、昭和天皇ご在位50年記念事業の一環として整備を進めてきた国営昭和記念公園「みどりの文化ゾーン」内の「花みどり文化センター」の一部に設置することとされ、その展示運営については、当財団の協力を得ることと決定された。当財団としては、これを受けて「花みどり文化センター」の一郭に展示施設としての内装を整え、宮内庁をはじめ、(独)国立科学博物館筑波研究資料センター、NHK放送博物館などの協力を得て、平成17年11月27日、昭和天皇記念館を国営昭和記念公園の「みどりの文化ゾーン」の開園と併せ開館し、平成27年に開館10周年を迎えた。

また公益法人制度改革三法が施行されたことに伴い平成23年3月23日公益認定を受け、同年4月1日に公益財団法人へ移行した。

平成29年度も事業計画に沿って、昭和天皇記念館の展示内容に一層の工夫をこらし運営の改善に努め、昭和天皇のご事績を後世に伝えるため、記念館以外の諸事業についても、内容の充実に努めた。

なお、特定費用準備資金等取扱規則に基づき平成28年度決算において、特定資産に昭和天皇記念館維持管理のための特定費用準備資金を設け、平成29年度から計画的に取崩し、昭和が遠のくなか昭和天皇記念館の維持管理を行っている。

1. 公益目的事業

(1) 昭和天皇記念館の管理運営事業 36,481千円

昭和天皇記念館は、昭和天皇のご聖徳をたたえそのお人柄をお偲びするとともに、後世にそのご事績を伝えつぐことを目的として開設した。

昭和天皇並びに香淳皇后のご遺品や映像などの展示により昭和の時代を顧みるとともに、昭和天皇の御心とお姿を一人でも多くの方に知っていただくため、平成29年度においては、平常展示『昭和天皇87年のご生涯』及び『昭和天皇の生物学ご研究』のほか、企画展示として平成29年3月4日から6月4日まで『思い出の昭和天皇(総集編)』、同年6月8日から平成30年12月24日まで『昭和天皇・香淳皇后のご肖像』を開催している。

平成29年度の入館者数は、対前年度10.7%減の13,861名(うち有料入館者は12,676名)で、平成17年11月27日の開館以降の累計入館者数は289,298名となった。

※【記念館管理運営事業収入 4,723千円】

※【書籍頒布事業収入 183千円】

(2) 生物学、医学等の学術研究への助成 2,169千円

昭和天皇は、皇居内の生物学御研究所で、ご公務の合間にご研究を続けられた。ご専門は変形菌類、海産動物のヒドロ虫類の分類学的研究だった。また那須や須崎の御用邸、皇居の周辺などでも、植物の調査・研究をお続けになられた。著書も多く出版され、業績は国際的に高く評価されている。

学術研究への助成は、平成3年度から、生物学に関する世界的学究者としての昭和天皇の研究分野(系統分類学)及びそれに関する生物学分野の研究を奨励し、学術研究の推進・発展に寄与することを目的として行い、平成28年度までに88件(応募件数は1228件)の助成を行った。平成29年度も引き続き動・植物における系統分類学の研究を対象として公募、応募件数81件(動物関係59件、植物関係17件、菌類5件)の中から学術研究助成委員会で審査の結果、次の3氏が助成対象候補として選ばれた。平成30年3月5日開催の理事会で承認され、事務局から学術研究助成金交付証が送付された。

嶋田 大輔 慶應義塾大学生物学教室助教

【日本周辺の深海底における線形動物エノプルス類の分類学的研究】

市原 健介 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター室蘭臨海実験所
特任助教

【カメや巻貝に着生するアオサ藻綱シオグサ科藻類の種多様性解析】

細 将貴 京都大学白眉センター特定助教

【カタツムリ食ヘビの歯列非対称性は陸産貝類相の地理変異に対してどう進化的に応答するか】

(3) 昭和天皇のご事績普及に関する事業の実施 15,721千円

①ご事績に関する事業 125千円

昭和の日を記念して昭和天皇のご遺徳を偲び、ご事績を後世に伝えるため、平成29年4月29日、国営昭和記念公園内において講演とビデオ上映会を行った。元宮内庁侍従諏訪部信氏による講演(50年前の侍従の回想)と「天皇皇后両陛下ご訪米の旅」のビデオ上映を行った。

御陵参拝は昭和天皇のご命日にあたる1月7日実施、さらに昭和天皇・香淳皇后の御陵をはじめ東京豊島岡の皇族方の御墓清掃等の陵墓勤労奉仕を行った。

②新聞「昭和」発行事業 10,034千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、ご事績を後世に伝えるため、新聞「昭和」を平

成元年6月から発行、平成7年度からは一般財団法人日本宝くじ協会より助成を受けている。新聞「昭和」では、昭和天皇、昭和の関連記事及び昭和天皇記念館の展示内容、さらには現皇室のご動静記事も掲載している。

平成29年度においても、引き続き新聞「昭和」(年6回、各20,000部)を発行し、記事の内容の充実に努め、各所に配布した。

※【日本宝くじ協会助成金収入 6,480千円】

③昭和天皇御製カレンダー製作事業 5,562千円

昭和天皇のご聖徳を顕彰し、後世に伝えるため、宮内庁の許可を得て平成6年から「昭和天皇御製カレンダー」を製作、贈呈頒布している。

平成29年度においても、引き続き昭和天皇のご遺徳、御製を広め伝えるため、平成30年版「昭和天皇御製カレンダー」(9,400部)を製作、贈呈頒布した。

※【御製カレンダー頒布収入 6,153千円】

事業費合計 54,371千円

※助成金等収入 -17,539千円

36,832千円

2. 収益事業

昭和天皇記念館MS事業 2,895千円

昭和天皇記念館において、入館者のために記念となる品々の頒布を目的としたミュージアムショップの事業を営んだ。

※【記念館MS収入 3,133千円】

II. 主要な人事

平成29年

- 6月19日 大給 乗龍氏 理事重任
- 廣瀬 道男氏 理事重任
- 本野 晃氏 監事重任
- 佐藤 浩二氏 評議員重任

平成30年

- 3月14日 山口 均氏 評議員就任
- 角田 素文氏 評議員辞任

III. 主要な会議

1. 理事会の開催

○第17回理事会

日 時 平成29年6月1日(木) 14:00～15:00

場 所 砂防会館 別館特別会議室

理事現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

理事出席10名、監事出席2名、同席者1名

議 事

第1号議案「平成28年度事業報告書の承認」の件

第2号議案「特定費用準備資金取得・保有の承認」の件

第3号議案「平成28年度財務諸表の承認」の件

第4号議案「第14回評議員会(定時)招集」の件

第5号議案「理事候補者推薦」の件

第6号議案「監事候補者推薦」の件

第7号議案「評議員候補者推薦」の件

報告事項

(1) 基本財産等の運用について

(2) 昭和天皇記念館の状況について

○第18回理事会

日 時 平成30年3月5日(月) 14:00～14:50

場 所 砂防会館 別館特別会議室

理事現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

理事出席10名、監事出席2名、同席者1名

議 事

第1号議案「平成29年度学術研究に対する助成事業承認」の件

- 第2号議案「平成30年度事業計画書の承認」の件
- 第3号議案「資産取得資金の計画期間(事業年度)等の変更承認」の件
- 第4号議案「平成30年度収支予算書の承認」の件
- 第5号議案「第15回評議員会(定時)招集」の件
- 第6号議案「評議員候補者推薦」の件

報告事項

- (1) 基本財産等の運用について
- (2) 昭和天皇記念館の状況について

2. 評議員会の開催

○第14回評議員会

日 時 平成29年6月19日(月) 14:00～15:00

場 所 砂防会館 別館特別会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席9名、監事出席2名、理事出席3名、同席者1名

議 事

- 第1号議案「平成28年度事業報告書の承認」の件
- 第2号議案「特定費用準備資金取得・保有の承認」の件
- 第3号議案「平成28年度財務諸表の承認」の件
- 第4号議案「理事選任」の件
- 第5号議案「監事選任」の件
- 第6号議案「評議員選任」の件

報告事項

- (1) 基本財産等の運用について
- (2) 昭和天皇記念館の状況について

○第15回評議員会

日 時 平成30年3月14日(水) 14:00～14:45

場 所 砂防会館 別館特別会議室

評議員現在数及び定足数 現在数11名 定足数6名

評議員出席10名、監事出席2名、理事出席2名、同席者1名

議 事

- 第1号議案「平成29年度学術研究に対する助成事業承認」の件
- 第2号議案「平成30年度事業計画書の承認」の件
- 第3号議案「資産取得資金の計画期間(事業年度)等の変更承認」の件
- 第4号議案「平成30年度収支予算書の承認」の件
- 第5号議案「評議員選任」の件

報告事項

- (1) 基本財産等の運用について
- (2) 昭和天皇記念館の状況について

IV. 会員の状況

平成30年3月31日現在会員数

個人会員	709人
法人会員	43社
賛助会員	38件
個人終身会員	3,547人
<u>法人永久会員</u>	<u>27社</u>
計	4,364

《 附属明細書 》

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。